PART2 非常時のセーフティネット

Chapter1　公的扶助

目標
社会保障制度は何を基準に実施されるのかを理解しよう。
社会保障の四つの柱の１つである，公的扶助の２つの目的を学ぼう。

1　社会保障制度とは？

「国民としての最低限度の生活水準」である**ナショナル＝ミニマム**を基準に実施される〔　　　　　　　　〕**制度**は，国民の生涯設計における重要な〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕〔安全網〕の役割を果たしている。

※社会保障の四つの柱は〔　　　　　　　　〕，**社会保険，社会福祉，公衆衛生**。

2　公的扶助

生活困窮者となった国民に対し「健康で文化的な最低限度の生活」（日本国憲法第 25 条）を国の責任，**全額公費負担**で保障する。最終的には［　　　　］**を促す**ことも大きな目的。

※生活保護基準は，一般国民の消費実態との調整をはかる水準均衡方式で毎年改定される。

①生活保護の 4 原則

A　申請保護

B　基準及び程度

C　必要即応

D　世帯単位

②**生活保護法**（1946年制定）とその改正（2014年施行，18年にも一部改正）

就労自立支援・申請の厳格化・医療扶助の適正化など。

※近親者による扶養義務を優先させるため，福祉事務所の調査権限が強化された。

生活保護のポスター

まとめ

日本の社会保障制度はナショナル＝ミニマムを基準に実施される。

公的扶助の目的は「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するとともに，「生活困窮者の自立」を促すことにある。

Chapter2　社会保険

目標　日本の社会保険について最も大きな特色が何か考えよう。
5 つある社会保険を，最も新しいものが何かを理解しつつおさえよう。

1　社会保険とは？

リスク（＝悪い事象が起こる可能性）に備えて**あらかじめ保険料を支払い，事故が発生した際に保険料の支払い額や事故の程度に応じて給付を受ける**制度。被保険者・事業主の負担する**保険料**と，政府（国・地方公共団体）の**公費**でまかなわれる。民間保険とは違い〔　　　　〕**加入**を原則としている。

※ 2010年，不祥事の多かった社会保険庁は解体し，日本年金機構が設立された。

日本年金機構

2　5つの社会保険

①〔　　　　〕**保険→**医療費の自己負担は原則 3 割で高齢者は軽減される

A　**国民健康保険→**自営業・自由業など

B　〔　　　　〕**保険→**民間被用者

東　京　都
国民健康保険
被保険者証
有効期限　令和 ●年 ●月 ●日
（枝番） 00
記 号 05－12　番 号 3456
氏　名　山田 太郎
生 年 月 日　平成 ●年 ●月 ●日　性 別 男
適用開始年月日　令和 ●年 ●月 ●日
交 付 年 月 日　令和 ●年 ●月 ●日
見本
世 帯 主 氏 名　山田太郎
住　所　□□区本町1丁目1番地1号
保険者番号 1 3 8 0 5 7　交付者名 □□区　公印

国民健康保険証

C　**共済組合→**公務員など

D　船員保険

E　**後期高齢者医療制度→ 75 歳以上**

②〔　　　　〕**保険→**老齢年金・障害年金・遺族年金

A　**国民年金〔基礎年金〕**

20 歳以上 60 歳未満の全国民が加入し 65 歳から支給

B　〔　　　　〕**年金**＋基礎年金

いわゆる「２階建て」方式

※公務員が加入していた共済年金は 2015年に厚生年金に統一された。

③〔　　　　〕**保険**

失業・雇用対策として求職者給付などがある。

④**労災保険**〔労働者災害補償保険〕**→事業主のみが保険料を負担**

業務上または通勤時の災害に対し給付。

⑤〔　　　　〕保険（2000年～）→各種の介護サービスを提供

財源は〔　　　〕**歳以上**が支払う保険料と政府(国・地方公共団体)が負担する公費で, **市(区)町村が運営主体**となっている。利用者の負担は原則として 1 割，一定以上の所得がある者は 2・3 割。

※ 65 歳以上が第一号被保険者，40 歳以上～65 歳未満の医療保険加入者が第二号被保険者。

A　在宅サービス

訪問介護・デイケア・デイサービス・ショートステイなど

B　施設サービス

特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など

まとめ　日本の社会保険は原則として強制加入であることが最大の特色。
医療・年金・雇用・労災に，5 つめとして新たに介護保険が加わった。

第12講 PART2　確認問題

1 「国民としての最低限度の生活水準」のことを何というか。

① ワークシェアリング　② ワーク = ライフ = バランス
③ セーフティネット　④ ナショナル = ミニマム

2 経済的不安に備えた安全網のことを何というか。

① セーフティネット　② ナショナル = ミニマム
③ ノーマライゼーション　④ ベーシック = インカム

3 社会保障の四つの柱のうち，生活が困難となった国民に対し「健康で文化的な最低限度の生活」を国の責任で保障するものはどれか。

① 社会保険　② 社会福祉
③ 公的扶助　④ 公衆衛生

4 生活保護の４原則に**あてはまらないもの**はどれか。

① 必要即応の原則　② 基準及び程度の原則
③ 申請保護の原則　④ 個人単位の原則

5 公的扶助は何という法律に基づいて実施されるか。

① 社会福祉法　② 社会保障制度改革推進法
③ 生活保護法　④ 国民年金法

6 社会保険の財源として正しいものはどれか。

① 公費のみ　② 被保険者・事業主の保険料と公費
③ 被保険者の保険料のみ　④ 被保険者の保険料と公費

7 民間のサラリーマンが加入する医療保険はどれか。

① 健康保険　② 国民健康保険
③ 共済組合　④ 後期高齢者医療制度

8 公務員が加入している年金はどれか。

① 国民年金〔基礎年金〕のみ　② 国民年金〔基礎年金〕＋厚生年金
③ 厚生年金のみ　④ 国民年金〔基礎年金〕＋共済年金

9 労災保険の財源として正しいのはどれか。

① 公費　② 被保険者と事業主の保険料
③ 事業主の保険料　④ 事業主の保険料と公費

10 介護保険の運営主体はどこか。

① 社会福祉協議会　② 国
③ 都道府県　④ 市（区）町村

第12講　PART2　確認問題 解答

1 解答：④　社会保障制度はナショナル＝ミニマムを基準に実施される。

①：仕事の分かち合いのこと。
②：仕事と生活の調和のこと。
③：経済的不安に備えた安全網のこと。

2 解答：①　社会保障制度は国民の生涯設計における重要なセーフティネットの役割を果たしている。

②：国民としての最低限度の生活水準のこと。
③：障がいの有無や年齢などに関係なくすべての人が平等に暮らせるよう社会基盤や福祉の充実などを整備すべきという考え方。
④：社会で生活するための基本的な所得をすべての人に公的に保障するしくみ。

3 解答：③　公的扶助は生活保護法に基づいて実施される。

①：リスクに備えてあらかじめ保険料を支払い，事故が発生した際に保険料の支払い額や事故の程度に応じて給付を受ける制度。
②：社会的立場の弱い人々に対し施設やサービスを提供する施策。
④：国民の健康の維持・増進を目的として行われる施策。

4 解答：④　「世帯単位の原則」が正しい。保護の要否や程度は世帯を単位として決定される。

5 **解答：③**　生活保護法には就労自立支援・申請の厳格化・医療扶助の適正化などが定められている。

①：社会福祉に関する法律である。
②：社会保障制度改革を推進するための法律である。
④：社会保険に関する法律である。

6 **解答：②**　社会保険の財源は被保険者・事業主の負担する保険料と，政府（国・地方公共団体）公費による。

①：被保険者・事業主の保険料負担もある。
③：被保険者のほか事業主の保険料負担と政府（国・地方公共団体）の公費もある。
④：被保険者のほか事業主の保険料負担もある。

7 **解答：①**　健康保険の保険者（運営主体）には全国健康保険協会と健康保険組合の２つがある。

②：自営業者や自由業者が加入する。
③：公務員などが加入する。
④：75 歳以上の者が加入する。

8 **解答：②**　国民年金〔基礎年金〕は 20 歳以上 60 歳未満の全国民が加入するもので公務員の場合，それに厚生年金が加わる。

①：厚生年金にも加入する。
③：国民年金〔基礎年金〕にも加入する。
④：共済年金ではなく厚生年金。共済年金は 2015 年に厚生年金に統一された。

9 解答：③　労災保険〔労働者災害補償保険〕の財源は事業主が負担する保険料のみ。

①：公費負担はない。
②：被保険者の保険料負担はない。
④：公費負担はない。

10 解答：④　介護保険の財源は 40 歳以上が払う保険料と政府（国・地方公共団体）が負担する公費で，市（区）町村が運営主体となっている。